



[懇談会の様子]

12月9日(水)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、佐竹秋田県知事と本会役員による懇談会を開催しました。



[挨拶をする藤澤会長]

開催にあたり、藤澤会長は「新型コロナウイルスの感染拡大は終息しておらず、経済の先行き不安が払拭できない中で、中小企業・小規模事業者が経営課題を克服し、成長を続けるためには企業同士の連携が不可欠

であり、組合の設立に加え、多様な連携が求められており、中央会の果たすべき役割はますます重要になると考えている。本会としては中小企業の生の声を収集することが支援活動の第一歩であると考え、新型コロナウイルス感染防止に注意しながら、訪問や電話などにより全ての会員組合へ巡回を行っている。その際に持ち帰った問題点・課題等については、情報を共有し、タイムリーな支援活動につなげている他、新年度に向けて新たな支援事業を企画するなど、

組合等を通じて県内企業の振興・発展につながるよう取り組んでいる。今後とも、なお一層のご指導・ご支援をお願いしたい。」と挨拶しました。

一方、佐竹知事は「今年度は新型コロナウイルスの影響を受けた県内経済の早期回復を図るため、プレミアム宿泊券・飲食券の発行や制度融資の拡充による資金繰り支援などの施策を講じてきた。



[挨拶をする佐竹知事]

新年度は県内企業が電気自動車の部品製造に向かうような体制や支援を大いにやっていく。様々な面でバランスのいい産業政策を講じるとともに、国土強靱化の予算を活用して公共インフラの整備にも取り組んでいきたい。業態変化や新しい産業の育成は、中央会の仕事でもあるので、情報交換を密にしながら進めていきたい。」と挨拶がありました。

懇談会では、藤澤会長はじめ、役員より下記の5分野11項目の要望を行いました。

◎インフラ整備

- 県内高速道路ネットワークの早期完成と主要幹線道路の拡張について
- 奥羽・羽越両新幹線の実現に向けた整備促進及び秋田新幹線トンネル整備(赤淵～田沢湖間)の早期実現について

◎中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充

- 中小企業連携の専門的支援機関である中央会に対する商工団体組織活動強化費補助金の確保及び強化について

◎「中小企業振興条例」に基づく産業支援

- 新型コロナウイルスによる倒産・廃業防止に関する中小企業支援施策の継続推進と県内産業の持続的発展に必要な支援の拡充について
- 新型コロナウイルス対策等中小企業支援施策に関する年度跨ぎの実施について
- 中小企業が連携して実施する展示会等への共同出展及び共同販売に関する事業への支援について
- 人材確保を目的とした業界PR活動等の実施に対する支援について
- 地場企業に対する支援強化について

◎官公需関連

- 公共工事の早期発注とゼロ県債の拡大等による一層効果的な発注平準化施策の推進について
- 地元中小企業・小規模事業者の受注機会拡大の措置と市町村への働きかけについて

◎外国人材の活用等について

- 外国人労働者の特定技能在留資格に関する産業分野の拡大の国等への働きかけ及び外国人材の活用に関するサポート支援強化について